

報告 生涯学習市民講座 「リハビリ」について

8月8日（金）の講座は修多羅地域の方のリクエスト NO1 リハビリ講座を開催いたしました。当日は45名の方が参加され、身体の間接や日常の動きなどについての関心の高さを感じました。帰宅時センターを後にする皆さんの歩行はパリコレモデルのように見えました。
大宅良輔先生（産業医科大学若松病院）、ご講義ありがとうございました。



報告 生き生き子ども講座「イカ親分」だぞ！

8月20日（水）、センターで工作教室を開催しました。児童にとって、夏休み宿題の最大の不安は工作。そんな不安をセンターで解消することを目的に、簡単に作れる工作教室を開催しました。名付けて「イカ親分」。水を入れたペットボトルの中にイカ（模型）を入れ、ボトルを押すと中の親分が、「なななんと・・・？」浮き沈み。楽しいひととき、参加したお友だちお疲れさまでした。



報告 どうさんキッズ ON August（そうめん流しごっこ）

今月の どうさんキッズは“そうめんながしごっこ”7組のキッズとママが参加してくれました。夏休み中のお兄ちゃん、お姉ちゃんもキッズの応援に、兄妹で声を掛け合いながらゲームを楽しみました。上手にボールを掴むことができると子どもたちは大喜び！その様子にママたちも自然と笑顔がこぼれ、ホールはたくさんの笑い声につつまれました。子どもたちの好奇心いっぱいの表情と親子の楽しそうなふれあいが、夏の素敵な思い出となりました。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。来月も楽しいイベントを企画しております。



報告 すたら子ども夏祭り

8月23日（土）10時から修多羅市民センターで開催された子ども夏祭りには延べ150名の方が集まり、夏の終わりの特別な一日をすごしました。35度の猛暑を忘れさせる涼しいセンター内で、子どもたちはゲームに夢中。奥野区長様も応援に駆けつけて下さり、会場は大いに盛りあがりました。
皆さんの笑顔、ご協力いただいたまちづくり協議会スタッフの皆さんに、心から感謝いたします。
本当にありがとうございました。



今月のおすすめ文庫

「はないちもんめ」 著者：石牟礼道子
水銀に汚される前の美しい「水俣」を、瑞々しい言葉で紡いだエッセー集。貧しい暮らしの中で、物心両面で助け合い自然をこよなく愛した人々の息づかいが聴こえてくる、時間を忘れて読破できます（I. H）



すたら あるある

現在、センターアイアンフェンスに多くのアート作品を展示しています。可愛い絵画、書道から自慢の写真など。まだまだ、作品を募集していますので、アイアンフェンスに作品を飾ってみませんか？

